

年 組 名前

2020年11月8日付滋賀版

## 連吟や狂言披露 観阿弥をしのぶ

能楽の大成者・観阿弥ゆかりの名張市観阿弥ふるさと公園で一日、遺徳をしのぶ観阿



東本さん<sup>右</sup>と大塚さんが軽快なやりとりを披露した狂言「しびり」  
|| 名張市の観阿弥ふるさと公園で

弥祭が開かれた。地元の子ども狂言の会の児童による狂言をはじめ、大人の愛好団体による連吟や仕舞が披露され、大勢の人が鑑賞に訪れた。

名張市の小波田地区は観阿弥が初めて芸能一座を立ち上げた地と伝わる。観阿弥祭は住民らでつくる市観阿弥顕彰会が毎年開き五十一回目。

子ども狂言の会の東本莉穂さん<sup>（左）</sup>と大塚陽愛さん<sup>（右）</sup>は能舞台で狂言「しびり」を演じた。

約十分の舞台を演じきった二人は「最初は緊張した」と口をそろえたが、一年前から練習してきた序盤の掛け合いで調子をつかんだ。客席に家族の姿も見つけ「楽しかった」と振り返った。（帯田祥尚）

問1：能と狂言の説明として最も適切なものを、1つ選びましょう。

- ア 狂言は、当時の話し言葉を使った喜劇である。
- イ 能は、こっけいな話を踊りにしたものである。
- ウ 能は、狂言の合間に演じられたものである。

問2：観阿弥は何時代に活躍しましたか。（ ）時代

問3：観阿弥とともに能楽を大成したのはだれでしょう。

（ ）

## 【活用にあって】

まちや村にくらす人々が楽しんだ芸能をもとにして、観阿弥・世阿弥の親子が芸術としてつくりあげたのが、能と狂言です。

能は、物語などを劇にして、歌や音楽に合わせ、面を付けて舞う芸能です。その能の合間に演じられたのが狂言です。当時の話し言葉を使った、こっけいな劇です。

現代でも能や狂言は演じられています。中日新聞名古屋本社すぐ近くには、「名古屋能楽堂」があります。室町文化は、盆踊り、茶の湯、生け花と同じように今の私たちの生活文化とつながっています。知識だけで終わらせないようにしたいですね。

### 解答例

問 1 : ア

問 2 : 室町

問 3 : 世阿弥